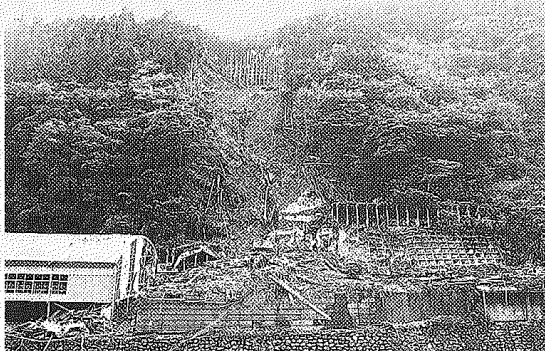


足立議員が台風10号被害状況視察

自民党の足立敏之参院議員は9日、台風10号による被害を受けた宮崎県椎葉村の被災地を視察した。椎葉村では、土砂崩れにより地元の建設会社、相生組の社宅兼事務所が被災し、4人が行方不明となっている（13日時点）。足立議員は「（相生組

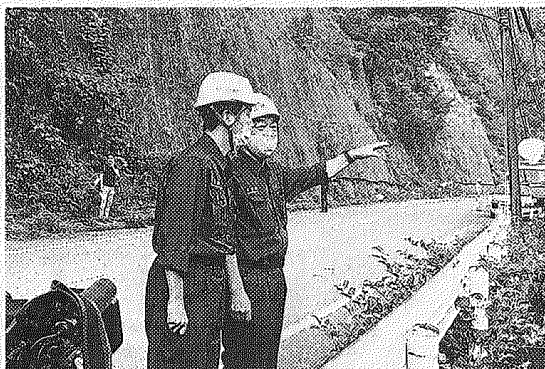


椎葉村で発生した土砂崩れ

宮崎・椎葉村で建設企業が被災

では）被災当日に緊急時に連絡の取れるような体制を取っていたと聞いている。地域のために貢献するという意志を持っておられる方々が被災し、痛々しく思つ」と語った。

椎葉村の鹿野遊（かなすび）地区では、台風10号による豪雨



被災現場を確認する足立議員（右）

で6日夜に土砂崩れが発生。社会体育施設とその隣にあった相生組の社宅兼事務所が被災した。相生組の社長がけがを負い、災害に巻き込まれたとみられる社長の妻と息子、ベトナム人従業員2人の計4人の行方が分かっていない。

足立議員は、近年の災害の激甚化・頻発化に伴い、災害復旧の中核を担う地域の建設業者自身が被災者となるケースが増加していると指摘。2020年7月豪雨でも岐阜県や大分県で建設業者が被災した事例を挙げ、「災害リスクと接している方が、地域を支えてくれるから復旧ができる」と強調。その上で、「地域建設業者を（災害のリスクから）補償する仕組みを考えないといけない」と主張した。